

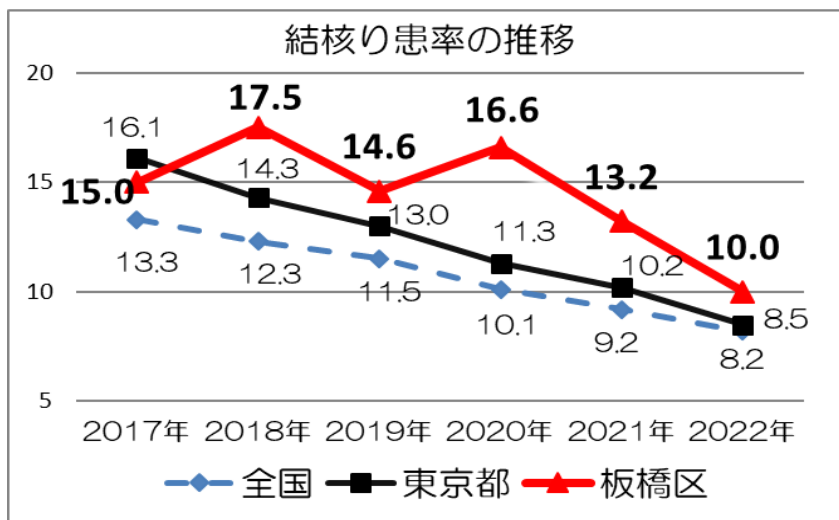
「結核」のこと、知っていますか？



「結核」という感染症について
正しく理解していただき、
早期発見・予防にご協力をお願いします。

＜結核とは＞

結核とは、「結核菌」が引き起こす感染症です。患者の咳・くしゃみで
空気中に飛び散った結核菌を吸い込むことで感染(空気感染)します。結核菌に感染したとしても、
実際に発病するのは10人中1~2人と言われていますが、数十年後に発病する方もいます。



2022年の板橋区の
結核り患率は **10.0**
(人口10万対)

全国および
東京都と比較すると、
高い状況が続いています。

2021年には、全国の結核り患率(人口10万対)が9.2となり、
ようやく欧米と並んで結核「低まん延国」(り患率10未満)となりました。

り患率低下の背景には、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う
感染対策強化や、医療機関への受診控えなどが影響していると
いわれているため、今後も対策を続けることが大切です。



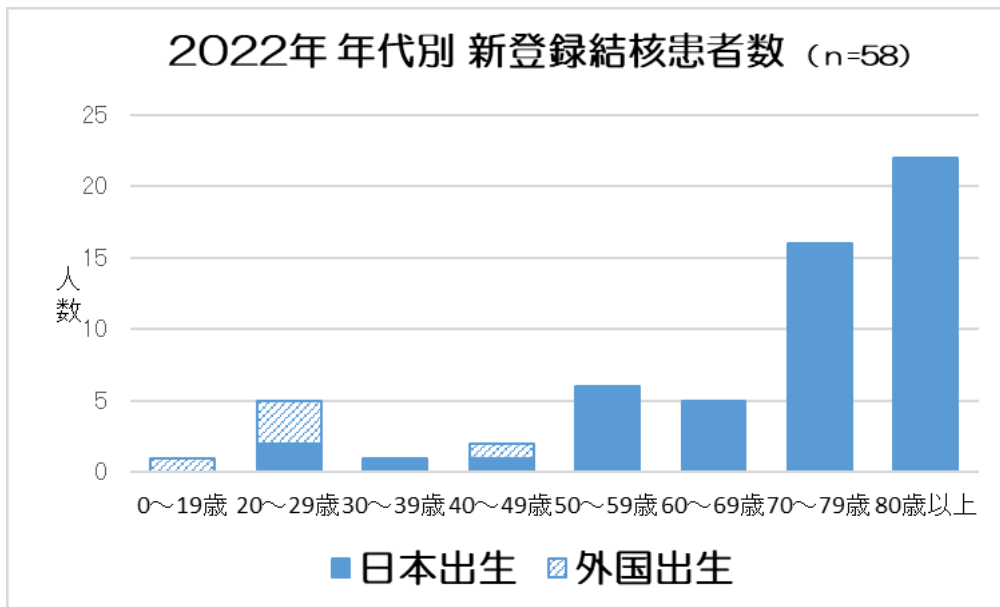
＜板橋区の新登録結核患者発生状況＞

各年1月～12月の状況(人)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
新登録結核患者 ※潜在性結核感染症を除く	86	99	85	97	77	58
(再掲) かくたん ^{とまつ} 喀痰塗抹陽性者 (感染性が高く入院が必要な方)	25 (29%)	37 (37%)	39 (46%)	35 (36%)	34 (44%)	27 (47%)
(別掲) 潜在性結核感染症 (結核菌に感染しているが、 発病はしていない人)	40	77	40	44	32	25

2017年以降、新登録結核患者数は年間100人を下回るようになりました。2022年は、
新登録結核患者数が最も少なく、5年前と比較すると約70%にまで減少しました。

しかし、^{とまつ}塗抹陽性患者(感染性が高く入院治療が必要な方)の数は横ばいで経過しており、
感染性が高く、入院治療が必要な結核患者の発生は変わらず多い状況です。



板橋区の新登録結核患者の特徴は、高齢者や外国出生の若い世代が多いことです。



結核は、
「過去の感染症」ではありません！

<結核の症状>

初期症状は、咳・痰・発熱など、かぜの症状とよく似ています。
 この他にも、からだがだるい・体重が減る・微熱が続くなどの症状があります。
 特に、高齢者は症状が乏しく、食欲がない、体重が減るなどの症状から結核の診断につながる
 ことが多いです。

<早期発見と予防>

年に1回は、胸部X線検査を受けましょう。胸部X線検査で異常所見を指摘された場合は、
 自覚症状が無くても精密検査を受けましょう。
 また、咳・痰が2週間以上続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

抵抗力の弱い乳児には、BCG接種が予防に有効です。
 区では、生後5～8か月での接種を推奨しています。
 1歳の誕生日前までに接種を済ませるようにしましょう。



<区民結核健康診断>

胸部X線検査を受ける機会がない方には、区民結核健康診断の受診をお勧めしています。

詳細は区ホームページを
 ご覧ください。



シールぼうや

複十字シール運動のイメージキャラクター
 結核をなくすために闘っています